

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	平成25年6月10日（月）午後6時～7時30分
開 催 場 所	中部地区会館403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）久米清孝、内野正夫、河野俊子、小西喜芳、田中勝子、酒井敦子、藤原アヤ子、遊佐光子 欠席者：栗原誠、堀越千草 事務局：協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	第1回男女共同参画推進市民委員会の会議結果について
議 題	議題1 第14回YOU・Iフォーラムについて 議題2 情報誌「YOU・I」第30号について 議題3 男女共同参画センター視察場所について 議題4 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 第14回YOU・Iフォーラムについて 講師については講師の宝井琴桜氏、慶応義塾大学准教授の向井万起男氏、木山裕策氏の中から事務局で調整し決定することとする。また、開催場所は市民会館とし日程については2月頃に開催するよう講師と調整する。 議題2 情報誌「YOU・I」第30号について 情報誌の原稿締切日を7月19日とし、1頁目を「委員長あいさつ」、2頁目及び3頁目を「歴代委員長の取材報告」、4頁目を委員会のテーマに合った講座の情報提供とする。歴代委員長の取材担当は久米委員長、河野委員、田中委員、藤原委員とする。 議題3 男女共同参画センター視察場所について 文京区、世田谷区、小平市の男女共同参画センターの中から事務局で調整し決定する。 議題4 その他 第3回委員会は平成25年7月22日(月)午後6時から中部地区会館403集会室で開催する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ◎印：委員長 ○印：委員 ●印：事務局	報告事項 第1回男女共同参画推進市民委員会の会議結果について ● 事務局から報告し、会議録については事前に確認してもらった結果、修正等はなかったので、ホームページ等で公開する。 議題1 第14回YOU・Iフォーラムについて ● 昨年度は緑が丘ふれあいセンターにおいて開催したが、今年度は例年通り市民会館小ホールで開催したいと考えている。開催時期についても例年通りの2月頃としたい。また、資料1は第13回YOU・Iフォーラムでのアンケート結果を基に予算の範囲内で選定した講師の一覧である。講師の選定については講師との調整が不調整になる場合もあるので、3名程度候補者を決めていただきたい。 ◎ 前回の委員会では講演会形式にこだわらず、朗読劇などを実施してみてもどうかという意見が委員から出されていることから、資料1の講師

に限らず、各委員の意見をいただきたい。

- 演劇や朗読劇のような形式でもよいと思うが、小ホールで開催する程の集客が見込めるかは疑問である。
- ◎ 過去にワーク・ライフ・バランスをテーマにした講演会を実施しているのか。
 - 実施している。
- ◎ これから定年を迎える人が増えていく中で高齢者を対象としたテーマにするのか、又は若者向けにワーク・ライフ・バランスをテーマにするのか決めた方がよい。
- 参加者のアンケート結果から定年後の夫婦のあり方というテーマで講演してほしいという意見が多数を占めていることから、ワーク・ライフ・バランスよりも定年後の夫婦のあり方について講演してもらった方がよいと思う。
 - 資料1の講師一覧以外にも事務局案として木山裕策氏がいる。木山裕策氏はサラリーマンとして働くとともに、子育てをしながら歌手になるという夢を実現させた。
- ◎ 木山裕策氏の講演テーマはワーク・ライフ・バランスなのか、定年後のあり方についてのテーマなのか。
 - 「仕事と家庭の調和」に留まらず、「仕事と家庭と歌手活動の調和」させているので「ワーク・ライフ・バランス」をテーマにした講演と考えている。また、歌手活動もされているので昨年度と同様に歌と講演形式になるかと思う。
- ◎ 今年度は市民会館で開催する予定なので、音響設備は問題ないと思う。
- YOU・Iフォーラムに参加するかたの年代は高齢者なのか。
 - アンケート結果からでは高齢者が多い。
- ◎ 「ワーク・ライフ・バランス」というテーマであれば、若い世代から高齢者まで対象となるが、「定年後の夫婦のあり方」をテーマにしてしまうと若い世代は対象外になってしまうので、より多くの世代に啓発することができない。
- 向井氏の「女房は宇宙飛行士」というテーマは結婚しているかたにはよいテーマだと思う。
- 向井氏の講演は宇宙の話があっっておもしろい。
- 向井氏のテーマは結婚していることが前提になっており、結婚していないかたは対象にならないような気がする。宝井氏の「高齢社会のイキイキライフ」というテーマであれば結婚していないかたや若い世代のかたでもいずれは高齢者になるのでよいと思う。
- ◎ 講師の候補は向井氏、宝井氏、木山氏の3人とし、講師の選定については講師の日程の都合等もあるので事務局に調整していただき、決定してもらおうことでよいか。

-異議なし-

議題2 情報誌「YOU・I」第30号について

- 委員会の年間テーマに沿った内容で誌面構成をしていただきたい。特集については、「健康支援」を目的に行っている講座の取材を行う。2つ目の案は「性別や年代に応じた健康支援」をテーマに座談会を実施する。3つ目の案は30号という節目の号であることから歴代の男女共同参画推進市民委員会委員長に取材してみる。以上の3つが事務局の案である。

◎ 各委員、情報誌「YOU・I」第30号の特集について意見がなければ事務局案の中から多数決で選びたいと思うが、いかがか。

-異議なし-

-調整-

◎ 1つ目の案である「健康支援」をテーマにした講座等の取材をすることがよいと思う委員2人、次に座談会が1人、最後に歴代の委員長の取材が3人なので情報誌「YOU・I」第30号の特集については歴代の男女共同参画推進市民委員会の委員長に対する取材とする。

● 歴代の男女共同参画推進市民委員会の委員長を取材する委員を4人選んでいただきたい。

-調整-

◎ 調整の結果、歴代の委員長を取材する委員は、久米委員、河野委員、田中委員、藤原委員とする。

◎ 歴代の委員長との日程調整等は事務局が行うのか。

● 取材をしてよいかの確認の連絡は事務局で行うが、歴代委員長との取材の日程調整は委員が直接していただきたい。また、歴代委員長への質問事項については事務局で作成する。

○ 原稿の締切はいつか。

● 8月1日に発行することを考えると、7月19日頃までに原稿をいただきたい。

◎ 原稿の締切は7月19日ということでよいか。

-異議なし-

議題3 男女共同参画センター視察場所について

●

◎ 資料に記載してあるセンターは過去に視察したところが載っているのか。

● 載っていない。

○ 運営が市と指定管理者に分かれているが、市と指定管理者の運営方法は何が違うのか。

● 市が直営するよりも、民間が運営することにより経費削減ができる。

○ 近隣市が資料には載っていないが、なぜか。

● 男女共同参画センターを設置されていない自治体と既に視察したセンターは除いているためである。

○ 小平市は市民活動が活発であり、おもしろそうである。

◎ 男女共同参画センター「ゆーあい」とかけ離れた施設だと参考にならない。

○ 区よりも市の方が本市と同規模の施設だと思うので参考になるのではないか。

○ 三鷹市は運営が指定管理者なので男女共同参画センター「ゆーあい」の参考になると思う。

● 今年度で緑が丘ふれあいセンターの指定管理期間が満了になるため、来年度以降の指定管理者を審査する指定管理者候補者選定委員会が8月頃に開催する予定でいる。指定管理者候補者選定委員会の委員の中には世

	<p>田谷区立男女共同参画センターの館長がおり、世田谷区では「区民企画協働事業」という「ゆーあい」では実施していない事業を実施している。</p> <p>◎ 緑が丘ふれあいセンターの職員は他の男女共同参画センターを見学しているのか。</p> <p>● 職員が独自に見学している。</p> <p>◎ 各委員から出た意見は小平市、三鷹市、世田谷区、文京区である。事務局で調整していただき、決定することとする。</p> <p>● 視察先と日程調整をする上で、各委員の都合を教えてください。 -調整-</p> <p>● 第4金曜又は木曜日で視察できるよう視察先と調整する。</p> <p>議題4 その他 (第3回委員会開催日程) ◎第3回委員会は7月22日(月)午後6時から中部地区会館403集会室で開催する。</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()</p> <p>傍聴者： _____ 0 人</p>
-------------------------	---

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>開示 <input type="checkbox"/>一部開示 (根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/>非開示 (根拠法令等： _____)</p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>生活環境部 協働推進課 (内線： 243)</p>
--------------	-------------------------------

(日本工業規格A列4番)